J1ESS-HB

J1ESS-HB58X
J1ESS-HB115
J1ESS-HB173

取扱説明書

Ver 8.0

www.solaxpower.jp

本書に関するご注意

著作権

© SolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SolaX Powerの事前の承諾なしに、いかなる形式または手段によっても複製、転写、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことを禁じます。

商標

SOLAX POWER およびその他SolaX Powerが提供する製品やサービスを示す商標（ブランド名、ロゴマーク）はSolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd.の登録商標です。許諾なしに無断利用することは商標権への侵害となりますので、ご注意ください。

注記

本書に記載されている製品、サービスおよび機能の全体または一部は、購入範囲または使用範囲に含まれない場合があります。契約で別途許諾している場合を除き、本書内の記述、情報、推奨事項はすべて明示的または暗黙的を問わず、いかなる保証または約束も行いません。

本書の製品写真や情報などの説明は、参照のみを目的として提供されております。また、本書に掲載されている画像はイメージであり、製品モデルによって異なる場合があります。

お客様に最新かつ正確な情報を提供するために、事前の通知なく随時内容を更新しております。

本書およびその他の製品情報の最新版は、当社ホームページ（www.solaxpower.jp）のサービスサイトからご覧いただけます。

当社は本書の最終的な解釈権を留保します。

本書について

適用範囲

この取扱説明書は蓄電システムの使用を説明しています。ご使用前に本書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

パワーコンディショナ 型式命名の説明:

J 1 ESS - HB 58X

1 2 3 4 5

No.	対象	説明
1	J	販売国（日本）
2	1	接続方式（単相）
3	ESS	システムタイプ（蓄電システム）
4	HB	パワーコンディショナタイプ（ハイブリッド型）
5	58X	蓄電池搭載容量（5.8kWh）

システム機種名

パワーコンディショナ（5.9 kW）+ 蓄電池ユニット（5.8 kWh）：J1ESS-HB58X
パワーコンディショナ（5.9 kW）+ 蓄電池ユニット（11.5 kWh）：J1ESS-HB115
パワーコンディショナ（5.9 kW）+ 蓄電池ユニット（17.3 kWh）：J1ESS-HB173

パワーコンディショナ（5.9 kW）：J1-Hybrid 6kW
蓄電池（5.8 kWh）：T-BAT H 5.8（本体）：T-BAT H 5.8
蓄電池（11.5 kWh）：T-BAT H 5.8（本体）＋HV11550（増設）：T-BAT H 11.5
蓄電池（17.3 kWh）：T-BAT H 5.8（本体）＋HV11550（増設）×2：T-BAT H 17.3
室内リモコン：Xpanel-J

変更履歴

版数	日付	変更内容
V0.0	2024/12/05	初版作成
V1.0	2020/11/03	説明書サイズ変更
V2.0	2021/01/06	認証要求より仕様を修正
V3.0	2021/01/20	認証要求よりPCS、蓄電池、筐体の質量を追加
V4.0	2021/07/27	J1ESS-HB58-1の内容を追加
V5.0	2021/07/28	認証関係の内容を修正
V6.0	2023/07/05	コールドスタンバイの状態から退出する方法を追加
V7.0	2023/09/05	アフターサービスの電話番号を更新
V8.0	2025/01/15	「ホーム画面の表示」（→P.12） 通信状態と警告マークの説明を修正 「蓄電システムの状態」（→P.13） ゴールドスタンバイの画面や説明を修正、単機能の説明を追加 「遠隔監視サービス」（→P.32） 遠隔監視サービスの内容を追加 「そのほかの使用場面について」（→P.36） 長期不在場合の対策を修正 「保証とアフターサービス」（→P.44） 保証内容を修正 「別紙」（→P.46） 型番J1ESS-HB173を追加 説明書全般 J1-Hybrid 3kWの関連内容を削除

もくじ

1 安全上のご注意 1

2 製品概要 6

2.1 製品構成 6

2.2 外形寸法/各部の名前 7

2.3 システム構成 9

3 室内リモコンの表示 11

3.1 システムの起動 11

3.2 ホーム画面の表示 12

3.3 蓄電システムの運転モード・状態 13

4 運転モードについて 15

4.1 通常時の使い方（連系運転） 15

4.1.1 グリーンモード 15

4.1.2 経済モード 16

4.1.3 安心モード 17

4.1.4 手動モード 18

4.2 停電時の使い方（自立運転） 19

5 室内リモコンの画面操作 21

5.1 システムの停止と再起動 22

5.2 運転モードの選択 23

5.3 ユーザー設定 24

5.3.1 グリーン/経済/安心モード設定 24

5.3.2 充放電時間帯設定 25

5.3.3 契約電流設定 26

5.3.4 停電モードミュート設定 26

5.4 画面設定 27

5.5 システムの動作状況の表示 28

5.6 さまざまな情報の表示と確認 30

6 遠隔監視サービス 32

6.1 専有アプリからの利用 32

6.2 専用Webからの利用 33

7　こんなときは.....34
7.1　よくあるご質問.....34
7.2　そのほかの使用場面について.....36
7.3　点検コードの内容と対処.....37
7.4　日常点検とお手入れ.....41
8　仕様.....42
9　保証とアフターサービス.....44
別紙.....46

1　安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

誤った取り扱いにて生じる危険や損害の程度は、⚠**警告** ⚠**注意**に区分しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「重傷を負うことや、財産的損害が発生するおそれがある内容」です。

絵表示については次のような意味があります。

一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	**感電注意** 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示	**分解禁止** 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告

⚠警告

取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売店または施工店に依頼する

適切な施工・処置がなされない場合、感電や火災のおそれがあります。

分解・改造しない

感電やエラーを負うおそれがあります。

子供を近づけない

感電・火災の原因となります。

災害などにより蓄電システムが浸水、水没、変形、破損転倒などした場合、本製品に近づかない

感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池からの電解液が漏れるなどの危険があります。すみやかにお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかない、室内リモコンの設定情報画面上の「システム オフ」をタッチし、蓄電システム用ブレーカーを「OFF」にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

蹴ったりして強い衝撃を与えない

変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。

パワーコンディショナ、蓄電池など本製品の上に乗ったり、座ったり、ぶら下がったり、物を置かない

機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。

蓄電システムの本体、増設蓄電池ユニットのパネルを開けない

内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。

パワーコンディショナ、蓄電池の近くに可燃性ガスや引火物を置かない（60 cm 以内） 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。

ペースメーカや植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない

機器本体からの電磁波が、ペースメーカおよびICDの動作に一時的に影響を与える場合があります。

蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する

分電盤の蓄電システム用ブレーカーを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。

吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない

火災・感電・故障の原因となります。

⚠警告

以下の電気機器を使用する場合はご注意ください

- **すべての医療機器、パソコンなど途中で電源が切れると困る家電製品に接続しない**
  太陽光発電電力または蓄電池の電力が不足すると、蓄電システムが停止し、家電製品の電源が切れます。その際にデータの消失や電気機器が動作しない場合があります。
- **灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない**
  本製品は自動で復電するため、上記の電気機器は地震などで転倒した場合に火災などの 2 次災害につながるおそれがあります。
- **その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある製品に接続しない**
  生命や財産に損害を受ける可能性があるため、電源が切れた場合のリスクを考慮した上でご利用ください。

⚠注意

停電時は負荷が大きい家電は使用しない

大型モータやポンプなど、起動時に大きな電力を必要とする場合、蓄電システムの放電が停止する可能性があります。蓄電システムが停止した場合、使用家電を限定してください。

点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない

蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。

蓄電システム本体筐体、増設蓄電池筐体の放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない

温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。

重要負荷ブレーカーには連系時最大30 A以上の機器を接続しない

故障の原因となります。

蓄電システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない

テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることあります。

受信している電波の弱い場所では、電磁エラーを受けるおそれがあります。

パワーコンディショナ、蓄電池の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない

引火し、やけど・火災の原因となることがあります。

⚠注意	
室内リモコンをぬれた手でさわる、ぬれた布でふくなどしない 故障や感電の原因となります。	**酸性およびアルカリ性溶剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない** 製品の変色原因となります。
落雪などで放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う 温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。	**取扱説明書を熟読する** ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。
廃棄処理・リサイクルについて お買い上げの販売会社いお問い合わせください。	

取り扱い上のお願い

次のような場所には取り付けない

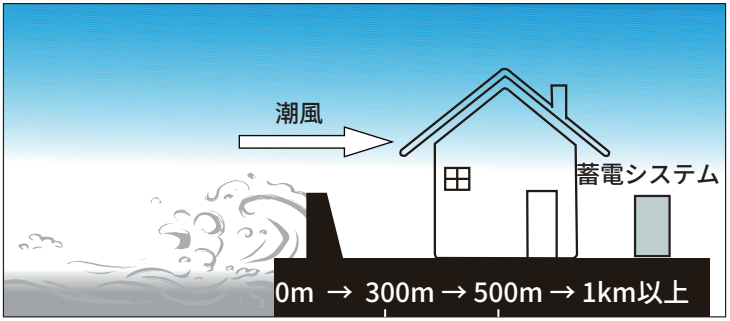
蓄電システム	室内リモコン
□ 標高2000 m より高いところ	□ 屋外
□ 岩礁隣接地域	□ 温度変化が激しいところ
□ 重塩害地域	□ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
□ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ	□ 振動、衝撃の影響が大きいところ
□ 振動、衝撃の影響が大きいところ	□ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
□ 油蒸気のあるところ	□ 電界の影響が大きいところ
□ 浸水のおそれがあるところ	□ 直射日光が当たるところ
□ 電界の影響が大きいところ	□ 次の温度範囲以外のところ 温度：-20℃～ +70℃
□ 風通しが悪いところ	
□ 結露および氷結のあるところ	
□ 次の温度範囲以外のところ PCS使用温度範囲：-25℃～ +60℃ 蓄電池使用温度範囲：-10℃～ +55℃ （使用温度範囲を超えると動作が停止する可能性があります。）	

■ 塩害地設置について

下図の「重塩害地」となる場所には設置できません。重塩害地以外の場所は設置可能ですが、塩害を避ける設置を行ってください。

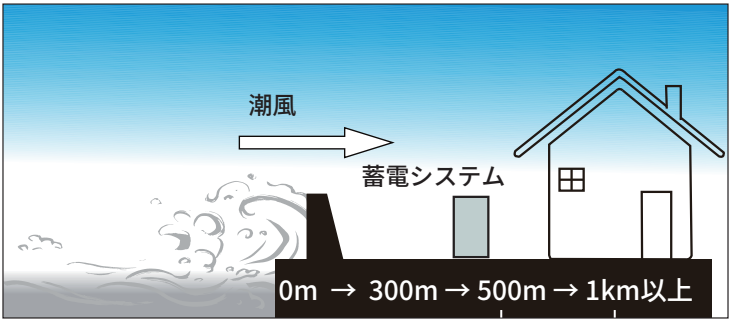
「重塩害」地域設置希望の場合、重塩害対応のオプション品は別途相談となります。

- 直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所



沖縄・すべての離島	設置不可	建物等で遮蔽されていれば設置可
北海道、東北の日本海側	設置不可	設置可
瀬戸内海沿岸、内海※	設置不可	設置可
その他の地域	設置不可	設置可

- 直接潮風が当たる場所



沖縄・すべての離島	設置不可	
北海道、東北の日本海側	設置不可	設置可
瀬戸内海沿岸、内海※	設置不可	設置可
その他の地域	設置不可	設置可

※　瀬戸内海沿岸は大阪湾、紀伊水道を除く。東京湾、伊勢湾を含む。
　　内海は瀬戸内海、東京湾、伊勢湾を含む。

2　製品概要

「J1ESS-HBシリーズ」は、太陽光発電システムと組み合わせて電気を活用する単相3線式蓄電システムです。太陽光発電パネルで発電した電気を蓄電池に充電して、発電しない時間帯に自家消費したり、安価な夜間電力を蓄電池に充電して昼間の電力使用ピーク時にシフト使用できます。クリーン・エネルギーを経済的に活用する環境に優しいハイブリッド型蓄電システムです。

本製品の特徴は以下の通りです：

- 停電時には、自動的に自立運転に切り替わり蓄電池から電力を供給します。
- ライフスタイルや目的に合わせて、運転モードを選択・設定できます。
- 100V の機器だけではなく 200V の家電製品にも対応しています。
- 屋外設置でも安心な防水・防塵設計です。（IP65 規格準拠）
- 高性能・長寿命の蓄電池を搭載し、太陽光で発電した電気を自家消費することで高い節電効果を発揮します。
- 蓄電システム本体はパワーコンディショナと蓄電池で構成され、太陽光発電パネルを直接接続できます。

2.1　製品構成

J1ESS-HB58Xは蓄電システム本体、J1ESS-HB115は蓄電システム本体と1台の増設蓄電池ユニット、J1ESS-HB173は蓄電システム本体と2台の増設蓄電池ユニットで構成されます。それぞれ1台の室内リモコン（Xpanel-J）が付属します。蓄電システム本体の中には、パワーコンディショナと本体蓄電池ユニットが組み込まれます。

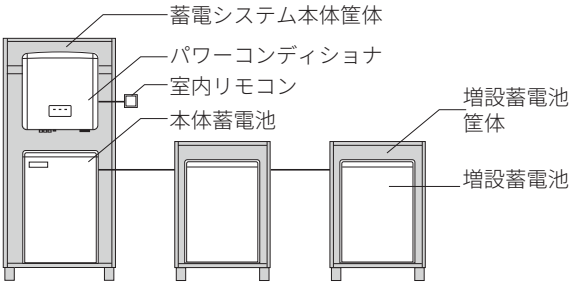
J1ESS-HB58X/115/173：線形負荷5 . 9 kVA / 非線形負荷4 kVA以内を接続可能。

蓄電池本体

増設蓄電池

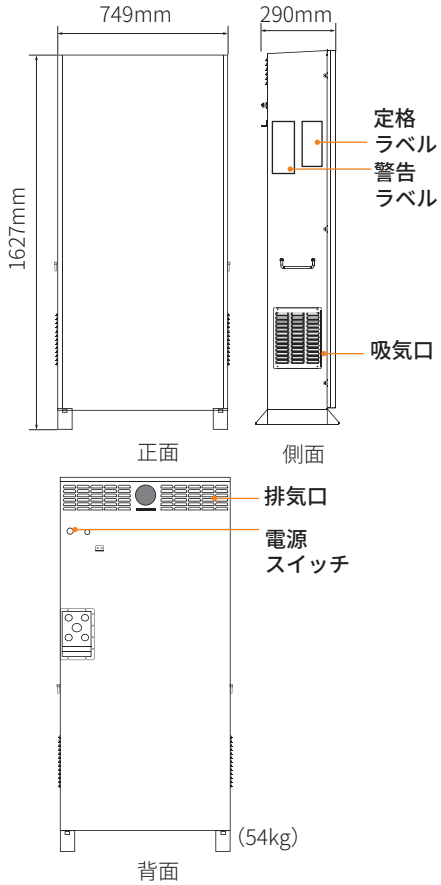
室内リモコン

製品構成例（J1ESS-HB173）



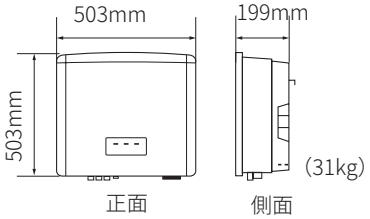
2.2 外形寸法/各部の名前

蓄電システム本体筐体



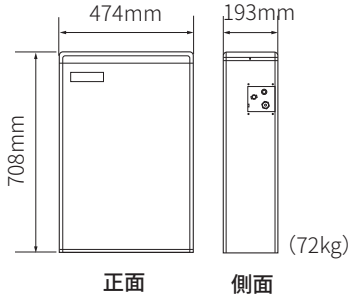
パワーコンディショナ

J1-Hybrid 6kW

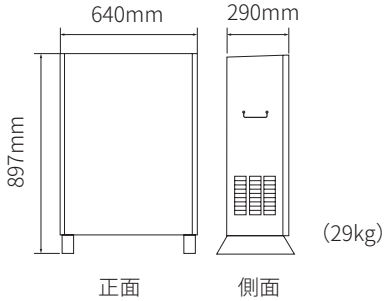


本体蓄電池ユニット

T-BAT H 5.8

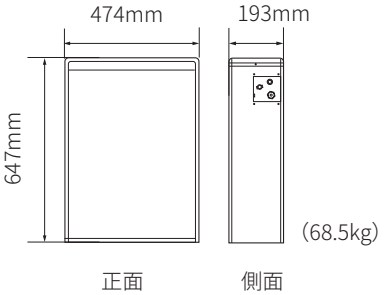


増設蓄電池筐体



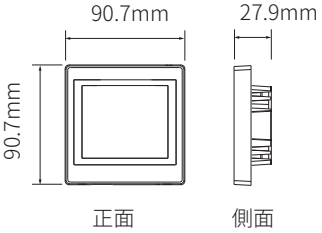
増設蓄電池ユニット

HV11550



室内リモコン

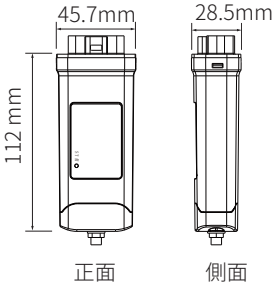
Xpanel-J



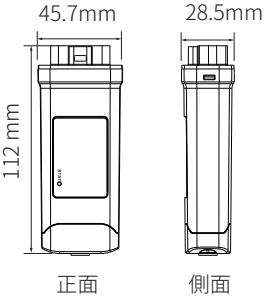
通信ユニット（オプション）

※　遠隔監視サービスを利用していただく場合に必要なデバイスです。

Pocket WiFi



Pocket LAN

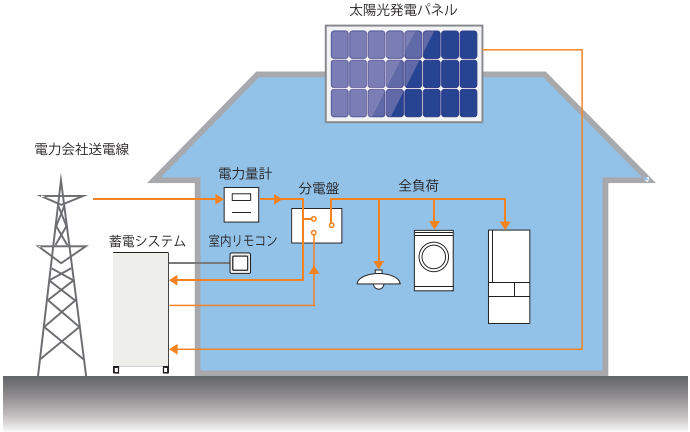


2.3　システム構成

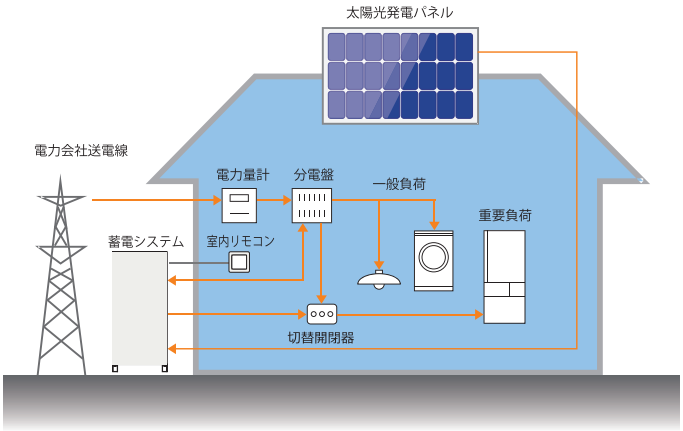
「J1ESS-HB シリーズ」は、全負荷接続・重要負荷接続の 2 種類の負荷接続が可能です。

- **全負荷接続**
  負荷容量が 6kW より少ない場合に適します。停電時にも全負荷に電気を供給します。
- **重要負荷接続**
  負荷容量が 6kW より大きい場合は、分電盤で一般負荷と重要負荷に出力を分けます。一般負荷は連系運転で使用します。重要負荷は連系運転、自立運転ともに使用できます。

全負荷接続



重要負荷接続



① 蓄電システム
「J1ESS-HB シリーズ」蓄電システムの本体には、リン酸鉄リチウムイオン電池とパワーコンディショナが内蔵されており、太陽光発電パネルをダイレクトに接続することができます。太陽光発電パネルまたは電力会社の電力を蓄電し、必要に応じて放電します。太陽光発電電力が余ったら、電力会社に売電することもできます。

② 室内リモコン
タッチ式のカラー液晶を搭載し、蓄電池の充電・放電状態や運転状態の確認や、蓄電システム本体の設定を行います。蓄電システム本体の電源スイッチがオフの時は、何も表示されません。

③ 太陽光発電パネル
太陽光を受けて発電します。発電した電力は蓄電システム本体のパワーコンディショナを通じて蓄電池に送られます。蓄電システム本体に接続可能な太陽光発電パネルについて、J1ESS-HB58X/115/173は 3 回路です。

④ 電力会社送電線
太陽光発電パネルから十分な電力を得られない時は、不足する電力を電力会社から購入します（買電）。太陽光発電パネルから十分な電力を得られるときは、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

⑤ 電力量計
買電用と売電用の2種類があり、電力会社から買った電力（買電）と、電力会社に売った余剰電力（売電）を計量します。

⑥ 分電盤
契約ブレーカー、漏電ブレーカー、連系ブレーカー、メンテナンスブレーカー、重要負荷ブレーカー、重要負荷分岐ブレーカーを内蔵しています。

⑦ 切替開閉器
重要負荷ブレーカーへの電力供給元（蓄電システム本体／電力会社）を切り替えるスイッチです。

⑧ 一般負荷（全負荷）
一般負荷は電力会社に接続されて、システムから独立した一般負荷用の電源です。全負荷は蓄電システムを利用した電力を使用可能な負荷用の電源です。

⑨ 重要負荷
蓄電システムを利用した電力が使用可能な重要負荷用の電源です。停電時でも蓄電池の電気を利用できます。

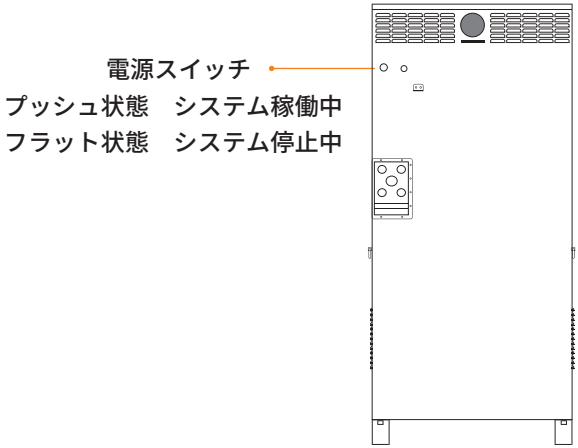
3　室内リモコンの表示

3.1　システムの起動

蓄電システムを起動するには、蓄電システム本体筐体の背面にある電源スイッチ・ボタンを押し、室内リモコンの「システムスイッチ」をタッチします。

蓄電システムが起動すると、スタンバイ状態からシステムの起動チェック（自己診断）を開始します。起動チェックに要する時間は３～５分です。

起動チェックが終了してシステムが正常に起動すると、室内リモコンに「試運転画面」が表示されます。



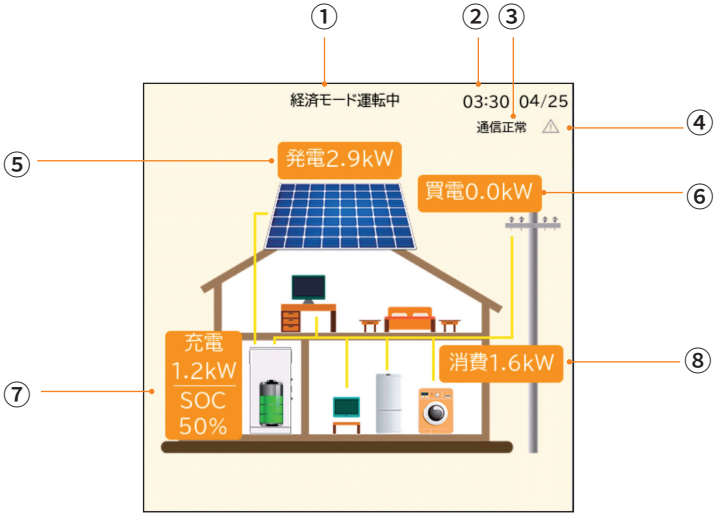
警告

電源スイッチがオフの場合蓄電システムは運転停止状態ですが、内部の高電圧の箇所で感電のおそれがありますので、回路とACとEPS線を触らないでください。

3.2　ホーム画面の表示

この製品は、室内リモコンの画面をタッチすることでさまざまな操作を行います。またお客様のスマートフォンやタブレット端末、PCなどでも操作を行う事ができます（「遠隔監視サービス」（→P.32）を参照）。

通常の運転時には以下のホーム画面が表示されます。一定時間操作が行われないと、スクリーンの表示は消えます。表示が消えたスクリーンにタッチすると再び表示されます。



① **運転モードと状態**
現在の運転モードまたはシステムの状態を表示します。

② **日時**
現在の日付と時刻を表示します。

③ **通信状態**
室内リモコンと蓄電システムの通信状態を「通信正常」と「通信中断」のいずれかの状態で表示します。

④ **警告マーク**
システムにエラーが発生すると警告マークが赤色で表示されます。蓄電システムが通常運転の場合、警告マークがグレーで表示されます。

⑤ **太陽光発電電力値**
蓄電システムに接続している太陽光発電パネルの発電電力値を表示します。
（単機能運用時は「0kW」表記となります。）

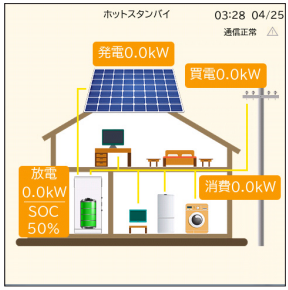
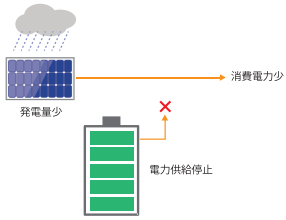
⑥ **売電・買電電力量**
電力会社との売電・買電の電力量を表示します。

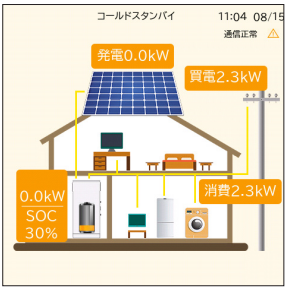
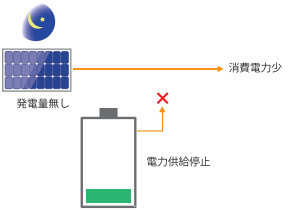
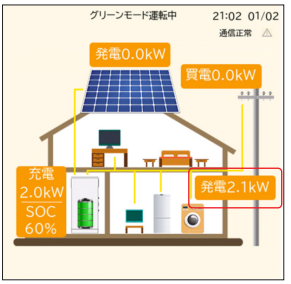
⑦ **蓄電池状況**
蓄電池の充放電電力と残量（SOC※）を表示します。
※　（State Of Charge）蓄電池の充電率です。

⑧ **消費電力**
消費電力の合計値を表示します。
（単機能運用時は「消費」が「発電」表記となります※2。

3.3 蓄電システムの運転モード・状態

蓄電システムの運転モードや状態は以下のとおりです。

No.	運転モード・状態	説明
1	停電モード運転中	停電の場合、システムは自立運転になります。
2	グリーンモード運転中	連系運転中、グリーンモードになります。
3	経済モード運転中	連系運転中、経済モードになります。
4	安心モード運転中	連系運転中、安心モードになります。
5	手動モード運転中	連系運転中、手動モードになります。
6	スタンバイ	待機中です。
7	システムチェック	システムの自己診断（起動チェック）を行っています。
8	エラー情報（不具合）	システム・エラーの名称が表示されます。 システム停止は停止しています。
9	システムオフ	システム停止中です。
10	スリープ状態（表示無）	室内リモコンがスリープ状態になっています。タップしても解除されない場合は、蓄電システム本体の電源スイッチをご確認ください。
11	ホットスタンバイ	放電停止中です。 太陽光発電パネルの発電量が少なく、蓄電池に十分な電力量があり、消費電力が少ない場合には、システムはホットスタンバイ状態になり蓄電池からの電力供給を停止します。消費する電力量が多くなった際には、通常運転に切り替えて蓄電池からの電力供給を開始します。  

No.	運転モード・状態	説明
12	コールドスタンバイ	放電停止中です。 夜間などで太陽光パネルが発電しなく、蓄電池の残量が設定の最小容量値※1に達した場合、蓄電システムが蓄電池の過放電を避け、システムの電力消耗を減らすために、コールドスタンバイの状態に入ります。 PV発電が開始し、または充電時間帯の設定時間※2に入った際に、通常運転に復帰します。コールドスタンバイの状態において、蓄電システムは完全待機になり、動作不可です。コールドスタンバイの状態を避けたい場合、安心モード※3または充電時間帯の設定を推奨いたします。  
13	単機能	 単機能運用において、太陽光パワコンが発電している際に、負荷に給電した上で、余剰電力があれば、「消費」の部分は「発電」に変え、太陽光パワコンより蓄電システムに流れ込んだ余剰電力量の数値が表示されます。 蓄電システムがコールドスタンバイの状態に入りますと、太陽光パワコンが発電しても、蓄電システムに充電できない可能性があります。そのため、単機能運用の際に、安心モードの設定または充電時間帯の設定を推奨いたします。

※ 1 蓄電池の最小容量値の設定は各運転モードにて設定可能です。「グリーン / 経済 / 安心モード設定」（→ P.24）にてご確認ください。

※ 2 充電時間帯の設定時間に入りますと、蓄電システムは系統から買電して蓄電池に充電します。充電が始まった際に、コールドスタンバイの状態から退出します。「充放電時間帯設定」（→ P.25）にてご確認ください。

※ 3 安心モードの設定によって、蓄電池は始終一定の残量を保持しますので、コールドスタンバイの状態に入ることがなくなります。

4　運転モードについて

4.1　通常時の使い方（連系運転）

本製品では、連系にて以下の運転モードを選択できます。

- グリーンモード 太陽光の余剰電力を優先的に蓄電池ユニットへ充電するモードです。
- 経済モード　　太陽光の余剰電力を優先的に売電するモードです。
- 安心モード　　停電や災害に備えて、常に一定の充電量を残しておくモードです。
- 手動モード　　時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。

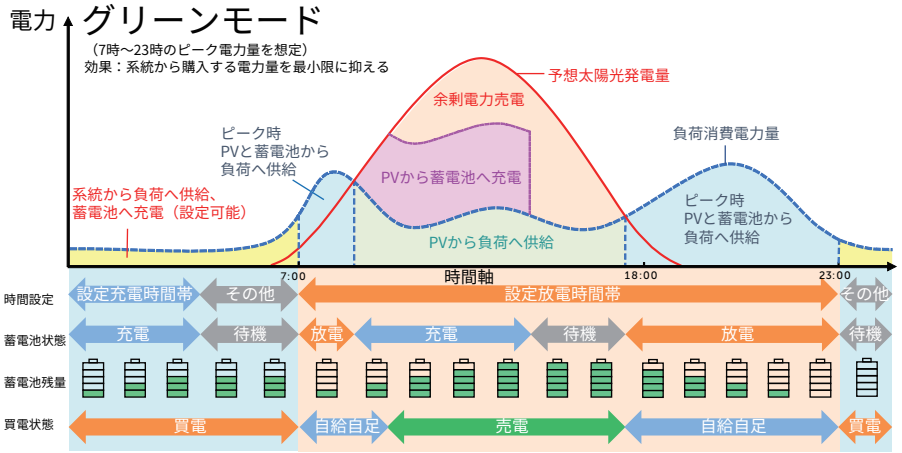
4.1.1　グリーンモード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に消費し、余った電力を蓄電池に充電します。蓄電池が満充電など充電しきれない場合は、電力会社に売ります。

電力消費の大きい夜と朝のピーク時に、蓄電池にためておいた電力を自家消費します。

太陽光発電パネルで十分な発電ができない時は蓄電池から放電します。

電気料金が割安な深夜時間帯に電力会社から蓄電池に充電することもできます。

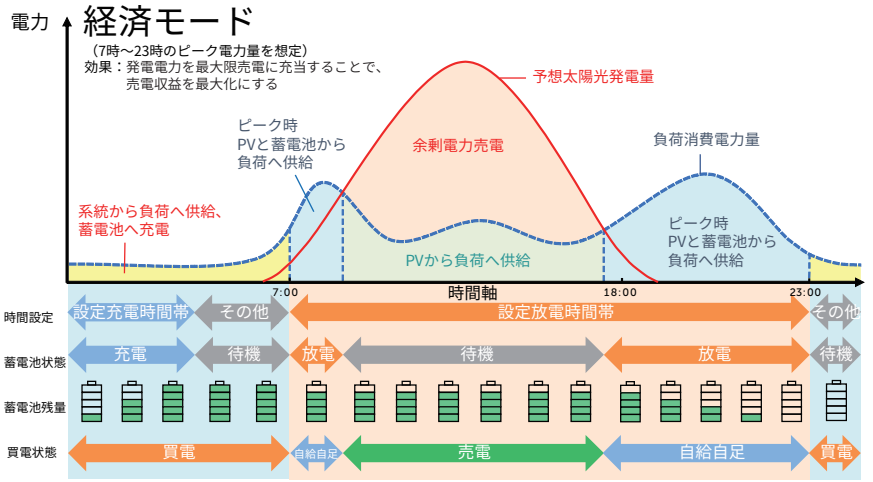


4.1.2　経済モード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に消費し、余った電力を電力会社へ売電します。

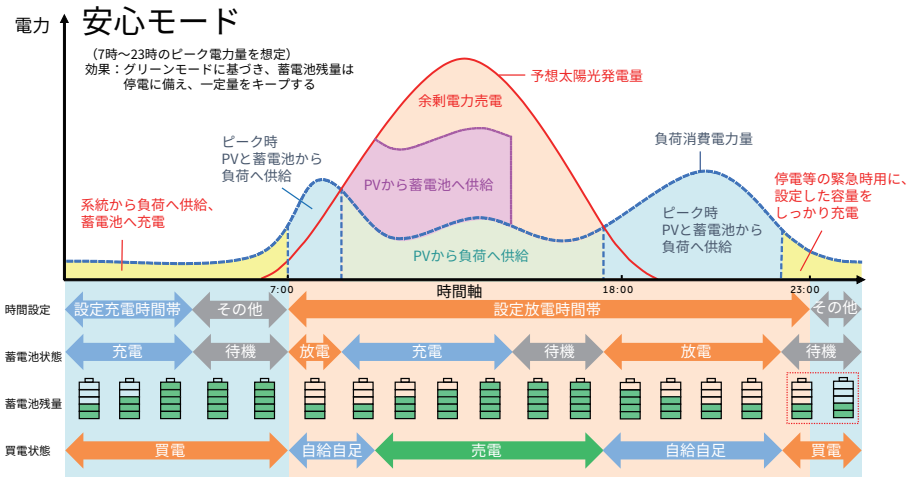
電気料金が割安な夜間に蓄電池に充電し、電気料金の割高な日中に蓄電池から放電してシフト消費します。昼間と夜間の電気代の差が大きいほど経済的なモードです。

電力会社から蓄電池への充電は、設定した時間帯に行われます。



4.1.3　安心モード

安心モードでは､緊急時に備えて一定量の蓄電池残量を確保します。基本的な運転動作はグリーンモードと同じですが、蓄電池の残量を指定してそれ以上消費しないように設定します。



4.1.4　手動モード

手動モードは、保守・メンテナンス用のモードです。手動充電、手動放電、充放電停止を行うことができます。手動モードは、基本的に、蓄電システムの設置・保守従事者のみが利用可能です。

■ 手動充電

時間帯に関係なく、蓄電池へ充電を行うモードです。
システムは、最大電力で蓄電池へ充電します。
蓄電池が満充電になり次第、蓄電池は充放電停止状態になります。

■ 手動放電

時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷へ放電を行うモードです。
システムは最大電力で蓄電池から放電します。
完全放電後、蓄電池は充放電停止状態になります。

■ 充放電停止

時間帯に関係なく、蓄電池の充放電を行わないモードです。太陽光発電があれば、その電力を家庭内負荷に供給します。

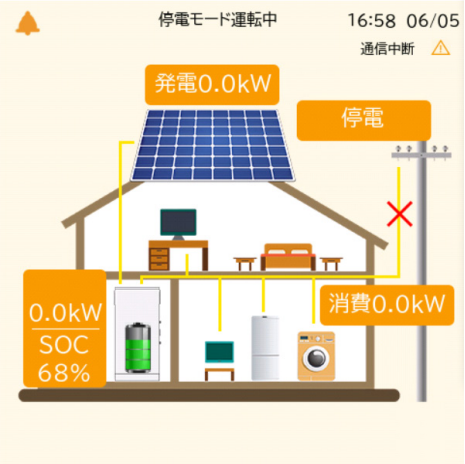
蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電や待機に設定した場合でも以下の動作を行います。

- 蓄電池残量が少なくなった場合は、直前に設定された自動運転モードの充電開始時刻から充電を行います。
- 手動運転モードに設定し、6 時間無操作となると、自動的に手動運転モード設定前に使用していた運転モード (経済モード、安心モード、グリーンモードのいずれか）に切り替わります。

4.2　停電時の使い方（自立運転）

停電を検知すると停電モードに切り替えて自立運転を開始します。

ホーム画面上に「停電時運転中」を表示します。また、4秒ごとに通知音が鳴ります。左上のベルのマークにタッチすると、マークに斜線が引かれて消音されます。



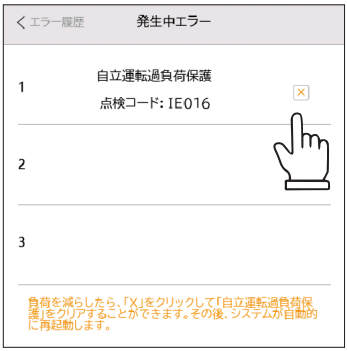
■ 復電時の操作

停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

電力会社との協議で定められた時間内（最大5分）は、復電しても停電時の動作になります。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。

■ 停電時の過負荷エラーの復旧手順

重要負荷ブレーカーの定格電流は30Aです。重要負荷ブレーカーで定格を超える電力が使用されると、「自立運転負荷保護」のエラーが表示され、システムは放電を停止します。エラーが発生したときは、以下の手順で復旧してください。



(1)　室内リモコンに「自立運転負荷保護」エラーが表示されていることを確認する。

(2)　重要負荷で使用する電気製品を減らす。

(3)　室内リモコンで「自立運転負荷保護」エラーのボタンにタッチしてエラーを消去する。

(4)　システムが正常に再起動するを確認する。

※　室内リモコン以外、監視クラウドやアプリのリモート詳細設定でも過負荷エラーの消去が可能です。

■ 停電時の家電製品の使用について

太陽光発電パネルで発電した電気の供給先は、回路の構成により全負荷の場合と重要負荷の場合があります。自立運転時には、蓄電池から重要負荷ブレーカーに電力を供給します。

重要負荷ブレーカーの定格電流は、30A以内とする必要があります。電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、重要負荷ブレーカーで定格を超える電力が使用されると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージが表示され、重要負荷ブレーカーへの給電を停止します。

家電製品の重要負荷ブレーカーへの接続は下記のとおり注意してください。

生命にかかわる商品	接続禁止	医療機器等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止	パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合があります	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合があります	電子レンジ、電気ストーブ等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。

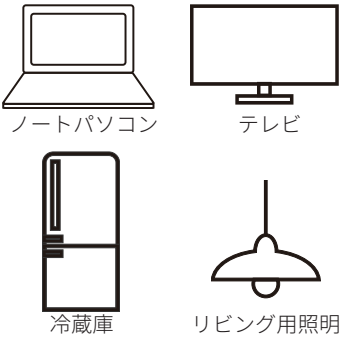
■ 下記の家電製品を連続利用可能※です

J1ESS-HB58X	最大 11 時間
J1ESS-HB115	最大 22 時間
J1ESS-HB173	最大 34 時間

接続家電製品例

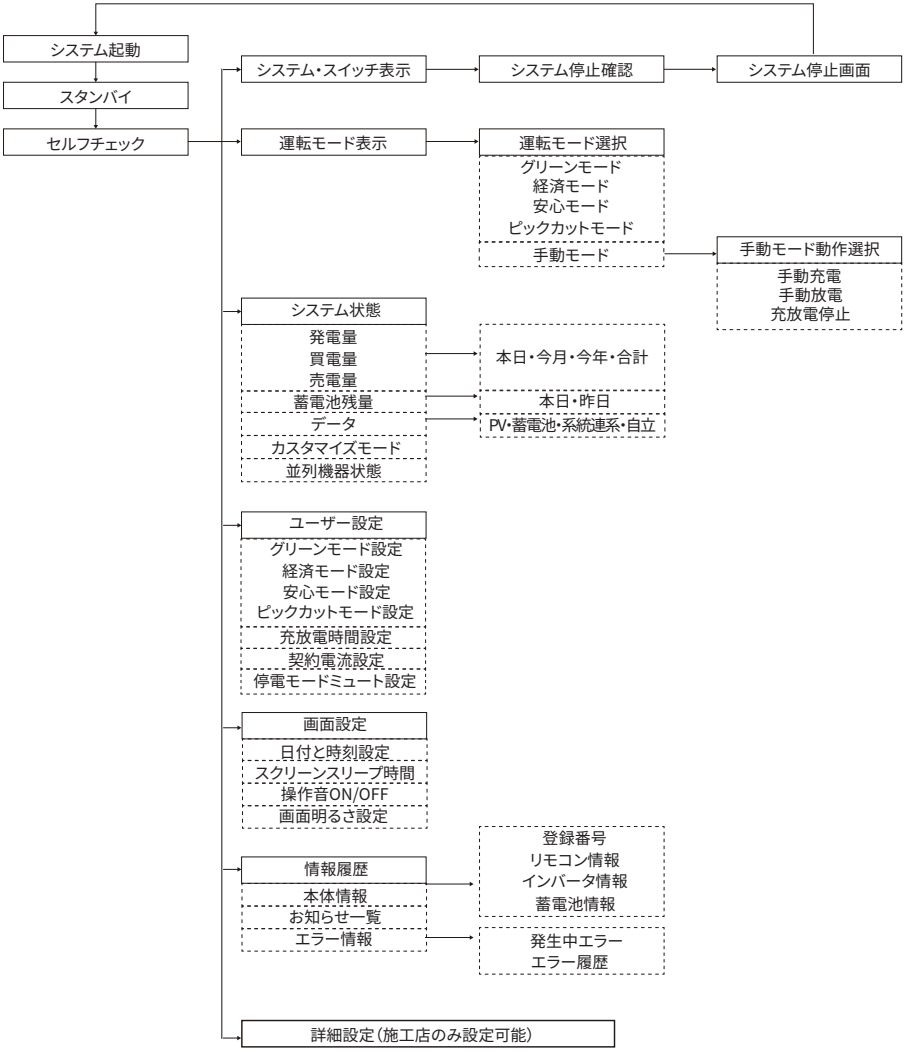
- 冷蔵庫：120 W
- 液晶テレビ：170 W
- リビング用 LED シーリング照明：100 W
- ノートパソコン、ルーター等：30 W
- 携帯電話充電（2 台）：10 W
- 合計：約 430 W

※ おおよその目安です。実際のご使用では、負荷使用量、その他の条件で変わります。



5　室内リモコンの画面操作

室内リモコンの画面操作の流れを以下に示します。



5.1　システムの停止と再起動

■ システムの停止

(1)　ホーム画面にタッチして運転モード表示画面に切り替えます。

(2)　画面上部の「システム・スイッチ」にタッチして、システムスイッチ画面に切り替えます。

(3)　システムスイッチ画面中央のオレンジ色のボタンにタッチすると、システム運転停止確認が表示されます。「OK」にタッチするとシステムの運転は停止します。「キャンセル」にタッチするとシステムスイッチ画面に戻ります。

■ システムの再起動

(1)　システムスイッチ画面中央の白色のボタンにタッチすると、システムが再起動します。

(2)　システムスイッチ画面でシステムチェック（自己診断）が開始されます。システムチェックの進行が分かるように、スクリーン上部に残り秒数が表示されます。

(3)　システムチェックの途中でホーム画面が表示されます。システムチェックが終了すると、ホーム画面上部に運転モードが表示されます。

5.2　運転モードの選択

■ 運転モード表示画面

(1)　ホーム画面にタッチして運転モード表示画面に切り替えます。

(2)　運転モード表示画面で、モード選択の横の「>」にタッチします。

(3)　運転モード選択ポップアップが表示されます。

■ 運転モードの選択

(1)　「グリーンモード」「経済モード」「安心モード」から運転モードを選択します。

(2)　画面上部の運転モード表示が選択したモードに切り替わることを確認します。

(3)　ポップアップの外側にタッチして運転モード表示画面に戻ります。

(4)　スクリーン左上のホームボタン⌂にタッチしてホーム画面に戻ります。

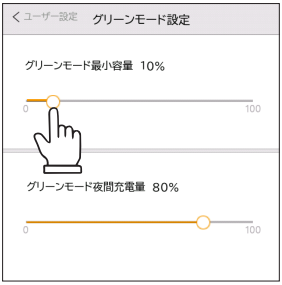
5.3　ユーザー設定

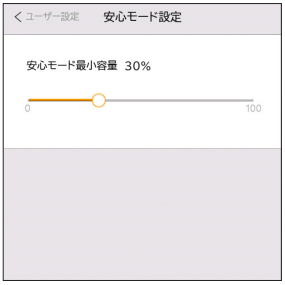
ユーザー設定画面では、以下の設定を行います。

5.3.1　グリーン/経済/安心モード設定

最小容量や夜間充電量などの、各モードの設定を行います。
丸ボタンを左右にスライドさせて、数値を調整できます。

運転モード	蓄電池最小容量※1	夜間充電量※2
グリーンモード	10%～100%（初期 10%）	50%～100%（初期 50%）
経済モード	10%～100%（初期 10%）	設定不可
安心モード	30%～100%（初期 50%）	設定不可



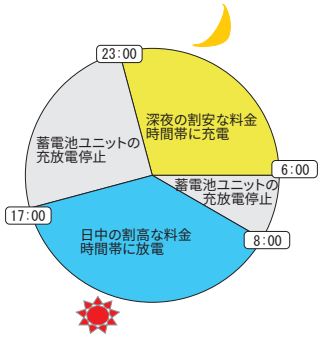


※ 1 蓄電池最小容量
蓄電池が放電して、設定した最小容量になると放電を停止します。
この時太陽光発電パネルからの給電が無ければコールドスタンバイ状態になります。

※ 2 夜間充電量
夜間の充電時間帯に蓄電池の何%まで充電する数値です。

5.3.2　充放電時間帯設定

充放電時間帯設定では、電力会社からの充電開始・停止時刻と、蓄電池からの放電開始・停止時刻を設定します。数字を上下にスライドさせて確定します。

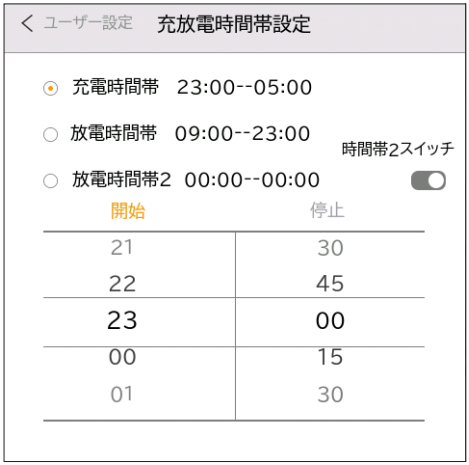


充放電時間帯設定は、グリーンモード、経済モード、安心モードのすべてのモードで有効です。

充電時間帯はご契約されている電力会社の深夜電気料金が安い時間帯に合わせて設定することを推奨いたします。

右図は充電時間帯を23:00～6：00に、放電時間帯を8：00～17：00に設定した例を示します。

- 充放電時間帯の開始時刻と停止時刻を同じ時間に設定すると、それまでの設定が無効になります。
- 充放電時間帯の範囲は「開始時刻≦充放電時間帯＜停止時刻」となります。例、充放電時間帯を9:00から10:00に指定した場合、停止時刻である10:00は充放電時間外となります。
- 放電時間帯は1日に2回まで設定できます。



充放電時間帯設定の初期値

充電開始／停止　23:01／07：00
放電開始／停止　07:01／23：00

5.3.3　契約電流設定

電力会社との契約電流が変更になった場合は、契約電流の設定を変更してください。間違って設定すると分電盤のブレーカーが誤動作したり、蓄電池の充放電に悪影響をおよぼす可能性があります。

（1）「契約電流」ボタンにタッチして契約電流設定画面に進みます。

（2）ポップアップ画面に現在の設定値と、新しい契約電流の選択ボタンが表示されます。

（3）新しい契約電流を選択して、ポップアップの外側にタッチして設定画面に戻ります。

※　契約電流の初期値は 60A です。

※　ご契約容量＝契約電流ではありません。

設定値参照

従量電灯B（アンペア契約）(100V基準)	従量電灯C（kVA契約）	設定値
20～30A	2～3kVA	10A
40～50A	4～5kVA	20A
60A	6～7kVA	30A
-	8～9kVA	40A
-	10～11kVA	50A
-	12～13kVA	60A（初期値）
-	14～15kVA	70A
-	16～17kVA	80A
-	18～19kVA	90A
-	20kVA	100A

5.3.4　停電モードミュート設定

停電が発生した時に、自立運転に切替ったことをお知らせするために 4秒ごとに通知音が鳴ります。この通知音は消音（ミュート）へ変更することも可能です。

ベルのマークが表示されている時は通知音が鳴ります（初期値）。ベルのマークにタッチするとマー クに斜線が引かれて消音されます。

通知音が鳴る　　消音（ミュート）

5.4　画面設定

■ 日付と時刻

日付と時刻の設定・変更は以下の手順で行います。

(1)　日付時刻表示の右側の「>」ボタンにタッチして、日時設定画面を表示します。

(2)　日時設定画面で年月日時分のそれぞれの数字を上下にスライドさせます。

(3)　正しい年月日時分が表示できたら、スクリーン右上の「OK」ボタンにタッチします。

■ スクリーンスリープ時間

室内リモコンは一定時間操作を行わないとスリープ状態になります。スリープするまでの時間を 30 秒、1 分、3 分、5 分から選択します。

■ 操作音オン・オフ

室内リモコンのスクリーンにタッチした時の操作音のオン･オフを設定します。スイッチがオレンジ色で表示されている時は操作音が鳴り、グレーで表示されている時は操作音は鳴りません。
スイッチのマークにタッチするとオン・オフを切り替えることができます。

操作音の音量は変更できません。

■ 画面の明るさ

スライドバーの上の白いボタンにタッチしたまま左右にスライドさせると、室内リモコンのスクリーンの明るさを変更できます。

5.5　システムの動作状況の表示

蓄電システムの動作状況を示す各種のパラメータを表示して、システム状態を確認できます。

表示するパラメータは、以下の五つの項目です。

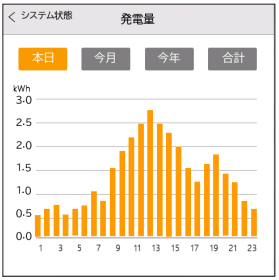
- 発電量※1
- 買電量
- 売電量
- 蓄電池残量
- データ※2

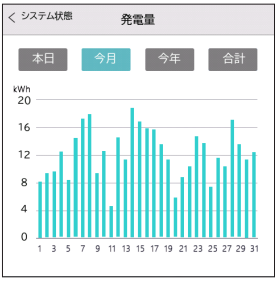
※1 パワコン系統側発電量は太陽光発電と蓄電池放電の合計値です。太陽光発電で蓄電池への充電量は含まれません。

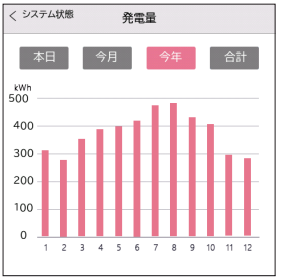
※2 各 PV 回路の発電状況、蓄電池の動作状況、電力会社 (系統) からの供給状況、CT 動作、自立運転の状況がリアルタイムで確認可能です。

■ 発電量、買電量、売電量

「本日」/「今月」/「今年」
その日/月/年の発電量、買電量、売電量を確認できます。（単位：kWh）







「合計」
日・月・年単位での発電量、買電量、売電量の累積をkWh 単位で表示します。

- 本日累計
  当日の 0 時～ 24 時までの累計値
- 今月累計
  当月の 1 日～ 31 日（30 日）までの累計値
- 今年累計
  当年の 1 月 1 日～ 12 月 31 日までの累計値
- 設備累計
  当設備が稼働してから現在までの累計値

■ 蓄電池残量

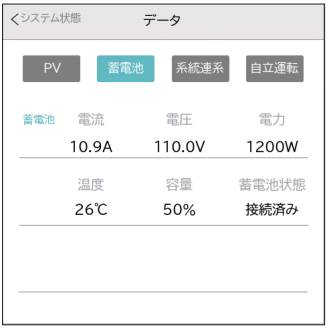
「当日」/「昨日」
その日/前日の蓄電池残量の変化を確認できます。1時間ごとのパーセンテージ(10〜100%)で表示します。

※　室内リモコンでは、昨日・当日分のデータ（グラフ）のみ記録されます。さらに、過去データをご確認したい場合は、Cloudからご確認ください。

■ データ

「PV」
太陽光パネルからの発電量が表示されております。PV1・PV2・PV3のそれぞれ電流値・電圧値・電力値が表示されております。
PV1・PV2・PV3の合計値が総発電量となります。

「蓄電池」
蓄電池の電流・電圧・電力・温度・容量・状態が確認することができます。



「系統連系」
CT検知状況・片相の電圧・周波数・電流・電力が確認できます。電力1はU - N相、電力2はW - N相の数値となっております。

「自立運転」
「系統連系」と同じ項目が確認できます。ただし、自立運転時（停電モード）のみ数値が表記されるため、通常運転時は、0の表記となります。

5.6　さまざまな情報の表示と確認

情報履歴画面では、システムの保守・メンテナンスに必要となる各種の情報を表示します。また、エラー履歴画面ではエラー状況の確認ができます。

■ 本体情報

登録番号

通信ユニットPocket Wi-FiもしくはPocket LAN によってインターネットに接続する場合に与えられる、システム固有の番号です。

リモコン情報

室内リモコンのソフトウェアバージョンを示します。

インバータ情報

システム製造番号(PCSの製造番号)、DSP・ARM（PCSの演算装置)のバージョン、システム運転時間が表示されます。

蓄電池情報

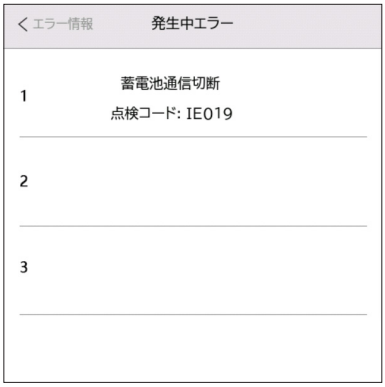
本体蓄電池の製造番号を表示します。「∨」をタップすると増設用蓄電池の製造番号を表示します。

■ お知らせ一覧

お知らせ一覧では、システムに記録されている操作の内容と操作日時を表示します。

■ エラー履歴

「エラー履歴」はエラーが発生した日時とエラーの内容、点検コードが表示されます。
「発生中エラー」は解消されていないエラーが表示されます。エラーが解消されると一覧から消えます。
「点検コードの内容と対処」（→P.37）に従ってエラーに対処してください。



6　遠隔監視サービス

遠隔監視サービスはモニタリングプラットフォーム（SolaX Cloud）を通して、登録設備のデータの監視およびリモート設定をします。また、万が一の故障の際、迅速なアフターサービスを受けることができます。

※　遠隔監視サービスは SolaX 製通信ユニットの設置が必要になります。通信ユニットを介して設備のデータを SolaX Cloud にアップロードします。

6.1　専有アプリからの利用

スマートフォンやタブレットなどで、下記のQR コードをスキャンし、専有アプリをダウンロードしてください。QRコードはホームページ(www.solaxcloud.com)画面、通信ユニットの説明書にもあります。

またはAPP Store/Google Play で「SolaXCloud」を検索して、アプリをダウンロードします。

アプリを起動し､アカウントを新規作成したとログインします。ユーザーガイドに従い各種設定（発電所の作成、設備追加、ネット接続など）を完成してください。

※　下記のスクリーンショットは SolaXCloud App V6.2.0 のものです。バージョンアップに伴い、実際の画面と異なる場合があります。

6.2 専用Webからの利用

パソコンで「www.solaxcloud.com」へアクセスします。ログインのあとは、右上のユーザーガイドに従い各種設定をしてください。

7　こんなときは

7.1　よくあるご質問

■ ホーム画面の発電、充電、消費電力量の合計が合わない場合

電力量は常に変動するため､条件によって合計値が合わなくなることがあります。発電量や消費電力は、環境条件によって瞬間的に大きく変動することがあります。

■ アンペアブレーカーが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売店または施工店へご連絡ください。

■ 室内リモコンの画面が表示されない場合

停電時に室内リモコンが表示されなくなるのは、電池残量が無くなっている可能性が高いため、太陽光発電が開始されるまでお待ちください。通常時（系統から電力が供給されている）にスクリーンにタッチしても何も表示されない時は、販売店または施工店にご連絡ください。

■ 自立運転時にエラーが表示されて運転が停止した場合

重要負荷に接続している機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。「停電時の過負荷エラーの復旧手順」（→P.19）を参照してください。

■ ラジオ、テレビの受信状態が悪い場合

テレビやラジオなどの機器は、蓄電システムや室内リモコンによって受信エラーを引き起こすことがあります。蓄電システムから 3 メートル以上離してください。

■ 蓄電残量があるのに放電されない場合

バッテリーマネジメントシステムが蓄電池を保護するために、残量が 0 パーセントになる前に放電を停止する場合があります。

■ コールドスタンバイの状態から手動で退出したい場合は

下記のいずれの方法を操作してください:

＜運転モード設定変更＞

- 「グリーンモード」、「経済モード」、「安心モード」運転の場合、蓄電池最小容量を蓄電池残量より低いように設定変更します。
- 「手動モード」運転の場合、「手動充電」に設定変更します。

＜充電時間帯を変更する＞

- 室内リモコンの「充電時間帯」の修正で、現在時刻が含まれるように設定変更します。

■ 停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、自立運転が停止し、電力供給がなくなります。太陽光発電（余剰電力）、もしくは系統から電力が供給されることで、充電は自動で開始されます。別途操作は必要ありません。

■ 異音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路の動作音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
ブーン音	排気ファンが回転する音です。
カチャ音	製品内部で機械部分が動作する音です。 （運転開始時と停止時に発生します。）
ガシャン音	分電盤の自動切替スイッチが切り替わるときに発生する音です。 （停電/復電時に発生します。）

7.2　そのほかの使用場面について

■ ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新は、遠隔操作で行います。詳細のご確認は、お買い上げの販売店または施工店へご確認ください。

■ 長期不在の場合

蓄電システム本体蓄電池のブレーカー、パワーボタン、パワーコンディショナの直流スイッチ、筐体背面のボタンをオフにしてください。また、蓄電システム用分電盤の「連系ブレーカー」と住宅用分電盤の「契約ブレーカー」はオフの状態で維持してください。

■ 台風、風水害による被害のおそれがある場合

台風や風水害によって機器が水没する恐れがある場合は、あらかじめ室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止して、連系ブレーカーをオフにしてください。詳しくは販売店または施工店にご相談ください。

■ システム運転中に水没してしまった場合

万一システムの運転中に水没した場合は、室内リモコンのシステム・スイッチをオフにして直ちに販売店または施工店にご連絡ください。感電する恐れがありますので機器に近づいたり触れたりしないでください。

■ 地震による被害があった場合

万一地震によって蓄電システム本体または増設蓄電池ユニットが転倒した場合は、室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止して、連系ブレーカーをオフにしてください。
地震の規模によっては蓄電システム本体または増設蓄電池ユニットが転倒していなくても内部で破損が生じている可能性もあります。異常を感じた時は販売店または施工店にご相談ください。

■ 製品を廃棄する場合

製品を廃棄する場合に、必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。また、製品の取り外しには有資格者による工事が必要となります。

7.3 点検コードの内容と対処

下記の内容は室内リモコンに表示される点検コードの意味と対処方法を記載します。点検コードや内容をご確認の上、対処方法をお試しください。

対処方法の中には、「再起動」とは室内リモコンでシステム・オフにして再度システム・オンにする操作を言います。

再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。（設備の型式、製造番号、点検コード、詳細状態をお知らせください。）

■ パワーコンディショナ

点検コード	内容	対処方法
IE001	ハードウェア過電流保護	• システムを再起動してください。
IE002	主電源切断保護	• 系統側のブレーカーが閉じていないかを確認してください。 • システムを再起動してください。
IE003	主電源電圧保護	• 室内リモコンの「システム状態」で、電圧が正常範囲内であるか確認してください。 • 室内リモコンの詳細設定で、「保護機能設定値」を正しく設定されているかを確認してください。（パスワードが必要） • システムを再起動してください。
IE004	主電源周波数保護	• 室内リモコンの詳細設定で、「保護機能設定値」を正しく設定されているかを確認してください。（パスワードが必要） • システムを再起動してください。
IE005	PV 電圧保護	• 室内リモコンの「システム状態」で、最大入力電圧が 450V を超えていないか確認してください。超えている場合はただちに販売店または施工店にご連絡ご連絡ください。 • システムを再起動してください。
IE006	バス電圧保護	
IE007	蓄電池電圧保護	• システムを再起動してください。
IE008	能動的単独運転検出保護	
IE009	DCI 過電流保護	
IE010	DCV 過電圧保護	
IE011	ソフトウェア過電流保護	
IE012	RC 過電流保護	

点検コード	内容	対処方法
IE013	ISO 保護	• システムを再起動してください。
IE014	過熱保護	• 蓄電システムの吸排気口が異物や堆積物でふさがれていないか確認してください。また、周囲が高温になっていないか確認してください。 • 環境温度が正常運転範囲内である場合は、再起動してください。
IE015	蓄電池逆接続保護	• システムを再起動してください。
IE016	自立運転過負荷保護	• 自立運転モードで負荷合計が許容範囲内か確認してください。負荷が大きすぎる時は、電気製品をコンセントから外してください。 • 負荷を減らしたら再起動してください。
IE017	系統接続過負荷保護	• 自立側の負荷がシステムの定格電力より高い場合、一部の負荷を止めてください。 • 自立側の負荷がシステムの定格電力より低い場合、「システム・オフ」にして、再起動してください。
IE018	蓄電池容量不足	• 連系運転している場合は、蓄電システムで設定した充電時間帯になるまでお待ちください。すぐに充電したい場合は、室内リモコンで手動モードに切り替えて手動充電を行ってください。 • 自立運転モードでは、最小容量値が 10%（初期設定値）以下になっていないか確認してください。 • 長期間充電されていない場合は、蓄電池の残りの電量が低すぎるため蓄電池容量不足となる場合があります。
IE019	蓄電池通信切断	• システムを再起動してください。
IE020	ファンエラー	
IE021	低温保護	• 外部温度が低すぎないか確認してください。 • システムを再起動してください。

点検コード	内容	対処方法
IE022	受動的単独運転検出保護	• システムを再起動してください。
IE023	RPR 保護	
IE024	CT 接続エラー	
IE025	内部通信エラー	
IE026	パワコン EE メモリエラー	
IE027	RCD エラー	
IE028	系統側リレーエラー	
IE029	自立運転用リレーエラー	
IE030	PV 逆接続保護	• ただちにシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE031	充電器リレーエラー	• システムを再起動してください。 • 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE032	自立側接地リレーエラー	
IE103	ARM EE メモリーエラー	

■ 蓄電池

点検コード	内容	対処方法
BE001	蓄電池 外部通信エラー	• システムを再起動してください。
BE002	蓄電池 内部通信エラー	
BE003	蓄電池 過電圧保護	
BE004	蓄電池 低電圧保護	
BE005	蓄電池 充電過電流保護	
BE006	蓄電池 放電過電流保護	
BE007	蓄電池 高温度保護	• 蓄電池の温度が正常な範囲に戻ったら、システムを再起動してください。
BE008	蓄電池 低温度保護	

点検コード	内容	対処方法
BE009	蓄電池 セル電圧差保護	• システムを再起動してください。
BE010	蓄電池 ハードウェア保護	• システムを再起動してください。
BE011	蓄電池 回路エラー	
BE012	蓄電池 絶縁不良	
BE013	蓄電池 電圧センサーエラー	
BE014	蓄電池 温度センサーエラー	
BE015	蓄電池 電流センサーエラー	
BE016	蓄電池 リレーエラー	
BE017	蓄電池 容量不一致	
BE018	蓄電池 バージョン不一致	
BE019	蓄電池 メーカー不一致	
BE020	蓄電池 SW/HW 不一致	
BE021	蓄電池 ソフトウェア不一致	
BE022	蓄電池に充電されない	• 蓄電池の温度が正常な範囲に戻ったら、システムを再起動してください。
BE023	蓄電池 スレーブ SW 保護	• システムを再起動してください。
BE024	蓄電池 電圧検知エラー	
BE 025	蓄電池 試運転エラー	
BE 026	蓄電池 温度差エラー	
BE 027	蓄電池 断線エラー	• システムオフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE 028	蓄電池 メモリチップエラー	
BE 029	蓄電池 予備充電エラー	
BE 030	蓄電池 ブレーカー切断	

7.4　日常点検とお手入れ

故障や事故を防ぐために、日常点検とお手入れは必ず行ってください。日常点検は月１回程度行うことをお勧めします。また、地震の後は必ず点検を行ってください。

■ 日常点検

ご使用の際に、以下の項目を点検してください。

異常を発見した場合は、室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止して、連系ブレーカーをオフにしてください。停止後に、お買い上げの販売店へ連絡してください。

- 通常と異なる音やにおいがしていませんか？
- 表面がさびたり、腐食していませんか？
- 吸排口が目詰まりしていませんか？
- 配管に傷はありませんか？
- 蓄電システム本体、増設蓄電池の固定にガタがありませんか？
- 室内リモコンが正常に表示しませんか？

■ お手入れ

お手入れは、安全のためシステムの運転を停止した状態で行ってください。

室内リモコンについて、埃等汚れが付着している場合は、柔らかい布でからぶきしてください。

また屋外に設置された本製品本体について、積雪や落ち葉が溜まっている場合は、柔らかなブラシ等で除去してください。泥はね、埃等汚れが付着している場合は、柔らかい布でからぶきしてください。

8　仕様

型番		J1ESS-HB58X	J1ESS-HB115	J1ESS-HB173
太陽光発電入力	最大入力電圧	450 V / 回路		
	定格入力電圧	330 V		
	MPPT追従範囲	70-450 V		
	最大入力電流	14A / 回路		
	最大短絡電流	16A / 回路		
	MPPT回路数	3 回路		
	MPPT最大効率	99.9 %		
系統連系出力	定格出力有効電力	5.9 kW		
	電気方式	単相3線式		
	定格出力電圧	AC 202 V		
	定格出力周波数	50 / 60 HZ（自動判別）		
	定格出力電流	29.2 A		
自立出力	定格出力有効電力	5.9 kW		
	電気方式	単相3線式		
	定格出力電圧	AC101 / 202 V		
	定格出力周波数	50 / 60HZ（自動判別）		
	定格出力電流	29.2 A		
蓄電池	電池搭載容量	5.8 kWh	11.5 kWh	17.3 kWh
	電池種類	リン酸鉄リチウムイオン電池		
室内リモコン	外形寸法	W90.7 x H90.7 x D27.9 mm		
	通信方式	RS485		
	動作環境	室内、環境温度-20 ～ +70 °C		
外形寸法		蓄電システム本体：W749xH1,627xD290(mm) 増設蓄電池：W640xH897HxD290(mm)		
本体筐体質量		54kg		
PCS質量		31kg		

型番	J1ESS-HB58X	J1ESS-HB115	J1ESS-HB173
本体蓄電池質量	72kg		
増設蓄電池筐体質量	29kg		
増設蓄電池質量	68.5kg		
総質量	157kg	254.5kg	352kg
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式		
冷却方式	強制空冷		
防水防塵保護等級	IP65		
外部通信方式	CT 、Pocket Wi-Fi（オプション）、Pocket LAN（オプション）、RS485、USB、室内リモコン		
使用温度範囲※	パワーコンディショナ： -25 ～ +60 °C（45°C以上は出力制限） 蓄電池： -10 ～ +55 °C（充電時0 ～ +55 °C / 放電時-10 ～ +55 °C）		
使用湿度範囲	0～100%		
保管温度範囲	パワーコンディショナ： -30 ～ +70 °C 蓄電池： -20 ～ +55 °C		
騒音	30 db以下 (ファン回転時は40 dB以下)		
標高	2,000 m 以下		
設置場所	住宅・施設用 屋外設置		

※　蓄電池使用温度は -10 ～ 0°Cの場合、SOC が 20% までしか放電できません。

9　保証とアフターサービス

■ 保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。
設置工事完了後は、施工店より「SOLAX設置完了報告書」を**service.jp@solaxpower.com**に送付してください。確認が取れ次第、保証登録完了メールに保証書を添付して発行いたします。

《無償修理規定》

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で装置が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。

(1)　お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障および損傷

(2)　風水害、地震、火災、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、動植物等の侵入異常電圧や指定外の電源使用等による故障および損傷

(3)　接続している他の機器に起因して、本製品に故障を生じた場合

(4)　説明書等の注意書きに記載の使用方法および注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合

(5)　本製品設計時の想定環境を超える周辺環境との不適合、不適切な電気条件により生じた故障の場合

(6)　当社指定のサービス部門以外での修理および改造された場合

(7)　正常なご使用でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換

(8)　動物の排泄部や異物等の付着により発生した変色や腐食等の損傷および故障

(9)　塗装面やメッキ面の自然退色

※　本書は、明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※　保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

- ご不明な点や修理に関するご相談は、販売店若しくは設置業者へお問い合わせください。
- 補修用性能部品の最低保有期間は、販売終了後から 10 年間となります。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。
  - 客様情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス）
  - お買い上げ時期
  - 機器の型式と製造番号（パワーコンディショナ左側面の定格ラベルに表示）
  - エラーの状況（点検コード、エラー発生時の時間と天候など）

定格ラベルの例

型式

単相3線式ハイブリッド型蓄電システム

型式：J1ESS-HB58X

太陽光入力(直流)	
入力電圧範囲	DC50-450V
入力数	MPPT3回路
入力最大電流	14A/回路
蓄電池	
蓄電池数	1個
蓄電池容量	5.8kWh
系統連系入出力(交流)	
定格交流電圧	単相3線式 AC 202V
定格出力周波数	50Hz/60Hz
定格出力有効電力	5.9kW
定格出力電流	29.2A
定格入力有効電力	7.9kW
定格入力電流	39A
自立出力(交流)	
定格出力電圧	単相3線式 AC 101/202V
定格周波数	50Hz/60Hz
定格出力皮相電力	2.95kVA/5.9kVA
定格出力電流	29.2A
使用温度範囲(全出力)	-10℃～45℃

製造番号（14桁）

SN

SolaX Power Network Technology (Zhe jiang) Co., Ltd.
www.solaxpower.com
612.02002.03

別紙

SII補助金申請の際に、下記のシステム型番が補助対象となります。システム型番の構成部品一覧もご確認ください。

パッケージ型番：J1ESS-HB58X

装置名称	型番	数量
単相3線式ハイブリッド型インバーター	J1-Hybrid 6kW	1
本体蓄電池	T-BAT H 5.8	1
蓄電システム制御装置	Pocket Lan	1
表示装置（室内リモコン）	Xpanel-J	1

パッケージ型番：J1ESS-HB115

装置名称	型番		数量
単相3線式ハイブリッド型インバーター	J1-Hybrid 6kW		1
本体蓄電池	T-BAT H 11.5	T-BAT H 5.8	1
増設蓄電池		HV11550	1
蓄電システム制御装置	Pocket Lan		1
表示装置（室内リモコン）	Xpanel-J		1

パッケージ型番：J1ESS-HB173

装置名称	型番		数量
単相3線式ハイブリッド型インバーター	J1-Hybrid 6kW		1
本体蓄電池	T-BAT H 17.3	T-BAT H 5.8	1
増設蓄電池		HV11550	2
蓄電システム制御装置	Pocket Lan		1
表示装置（室内リモコン）	Xpanel-J		1

SolaX アフターサービス・コールセンター

TEL. 080-0100-2327　9:00~19:00（土日・祝日・休業日を除く）
E-mail service.jp@solaxpower.com

© SolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd. All rights reserved.

320101006608